

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして 2015年11月15日発行 No.94



きそがわ作業所
～毎日お仕事頑張っています！！～

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937

社会福祉法の一部「改正」法案

先の国会では継続審議になる！

…社会福祉を守り拡充めざす共同の輪広がる…
…12月末までの集中期間でさらに共同の輪を…

社会福祉に関する重要な法律の改正に関する法案が、先の国会で衆議院では参考人質疑を含めて3日間(合計10時間)というスピード審議で7月に通過しました。しかし、全国的にも慎重な審議を…という声が高まっていた中、その後の参議院で継続審議となりました。

この法案については、社会福祉法人に対する「地域貢献活動」の義務化を導入し、本来公的責任において推進されるべき施策が曖昧になる問題や、人手不足で厳しい状況にある社会福祉施

設の退職共済手当制度の公費助成の廃止等(障害福祉分野は平成27年4月から廃止案)が含まれており、疑問点が多い内容であるため、多数の人々が次期国会では益々慎重な議論を…と願っています。

こうした状況を踏まえ、「権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会」では、12月末までを集中期間と設定して、左記の国会請願署名(要約抜粋)を集め、国への要望活動と共に世論を高める活動が進められています。

憲法25条に基づく権利保障としての社会福祉事業を守り拡充することを求める請願署名の請願項目

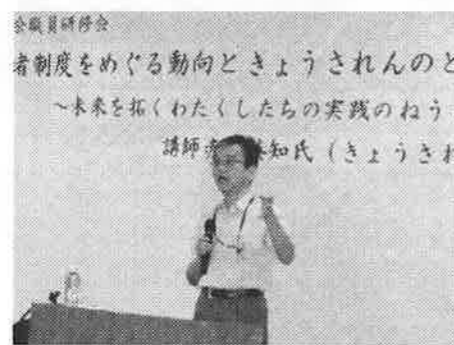
1. 社会福祉事業に対する公的責任を放棄せず、より拡充してください。
①地域公益活動を社会福祉法人に押しつけず、国の責任で制度化して実施してください。
②「地域公益活動・事業」の実施によって、すでにおこなっている高齢者・障害者・子どもへの支援の質が下がり、量が減ることのないようにしてください。
2. 国の責任で、福祉職場の人材を確保・定着させてください。
①社会福祉事業が継続的・安定的に運営でき、福祉労働者の処遇改善が図れるように、十分な財源を確保してください。
②社会福祉施設職員等退職手当共済制度への公的助成の対象を縮小せず、すべての分野に拡大してください。

※署名用紙は、きそがわ福祉会各事業所内又はインターネットからダウンロードもできます。「憲法25条に基づく権利保障としての社会福祉事業を守り拡充することを求める請願」で検索。

障害者権利条約を地域のすみずみに!! をめざして

「障害者権利条約と発達保障」を学ぶ…法人全職員研修会

昨年1月に障害者権利条約が日本において批准されました。世界で141番目と決して早い批准ではありませんが、この障害者権利条約は日本国憲法と国内法の間位置づけられており、障害者総合支援法などの国内法の見直しにあたって、日本は、この条約に恥じないような法整備を進めていく必要があると言われています。



きそがわ福祉会では、法人事業計画の研修計画に基づき、去る8月29日に全職員研修を行いました。講師は「きょうされん」常務理事の赤井英知氏に依頼し、障害者権利条約のメッセージを「社会モデル」「合理的配慮」「他の者との平等」等のキーワードをもとにわかりやす

く説明をしていただきました。また、個人・集団・社会の系に対応する私たちの日々の丁寧な実践の重要性と共に、障害福祉制度をより良いものにしていく活動の重要性についてもわかりやすく説明していただきました。障害者権利条約に書かれている内容があたり前のものとなるよう、関係者一同力を尽くしていく必要性を学ぶことが出来ました。



木曾川庁舎研修室

ふたばドリーム 一泊旅行

ふたばドリーム作業所では、去る、9月10日・11日と一泊旅行に出かけました。今年の一泊旅行は1日目が鈴鹿サーキット2日目がブルーメの丘。去年からずっと待ち遠しかったイベントで今年も無事に計画して行く事ができました。

● 鈴鹿サーキット

現地では3つのグループに分かれて行動し、乗り物に乗ったりお昼ご飯を食べたり、おやつを食べたり、おみやげを購入したりして、みなさんそれぞれ思い思いに過ごされました。

● ブルーメの丘

現地ではパン作りとバター作りを体験してきました。一人一つ直径20cmの一次発酵までしたパンの塊を貰い、みんなそれぞれ思い思いの形に成型し焼いてもらいました。焼き上がるのを楽しみに、その間はバター作り!! 10cmくらいの、蓋つきの容器の中に生クリームを入れ、ただただそれを振りまくるだけ!! 最初は液体だった物がだんだん流動物に、さらに振り続けると個体になり、1つの塊に!! 約20分間振り続けるとバターになりました。それと同時にパンが焼き上がり、バターを付けて自分の作品を食べました。今では、旅行の写真を見て思い出話に花を咲かせています。



真面目に先生のお話を聞いてパン作り



鈴鹿サーキットを満喫し笑顔がいっぱい

『ドリームしいたけ』のお知らせとお願い

今年もしいたけが始めました。毎年沢山の方にご利用いただきまして本当に有難うございます。

この度、誠に勝手ながら諸般の事情により価格を改定させて頂くことになりました。少しでもより良いものを提供できますように努力してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、ご注文分となごみの広場の販売につきましては引き続き内税です。改定価格 1袋 300円です。ご注文お待ちしております。



わかばドリーム 一泊旅行

わかばドリーム作業所では、10月8日・9日に一泊旅行に行きました。両日とも天気に恵まれ、絶好の旅行日和でした。行き先は1日目に豊橋の、のんほいパークへ行き、象、シロクマなどのいろんな動物を見て楽しみました。2日目は蒲郡のラグーナテンボスでそれぞれの行動班ごとに観覧車、メリーゴランドなどの好きな乗り物に乗り、みんなにこやかな表情。買い物では、真剣な表情でおみやげ選びに夢中でした。宿泊先のホテルでは、たくさんの豪華な食事を堪能しました。窓からの

景色も大変素晴らしく、すぐ近くにある竹島まで歩いて散策したメンバーもいました。また宴会の中では、今月の誕生日会を行い、『ハッピーバースデー♪』を歌い、お祝いのプレゼントを渡して盛り上がりました。職員によるパフォーマンスショーも行い、風船をたくさん身に付けた姿を見た時には笑いが起こり、『凄いなあ〜』と言って手を叩いて喜んだり、ステージに上がって参加した仲間もいて会場がとても和やかな雰囲気になりました。

作業所内では見られない仲間の行動や笑顔があり、今回の旅行を通じて仲間と職員の絆もより深める事ができました。



乗り物いっぱいだったよ!



のんほいパークで全員でばちり!

ホームの誕生日会

玉の井ホーム

玉の井ホームでは毎月仲間の誕生日会を行っています。夕食やデザートをみんなで賑やかに作ってお祝いします。

8月の誕生日会では、ピザ作りをしました。今回は一人ひとり、自分好みの様々な具材をピザの生地のにせていき、最終的には各々の個性があふれるポリリウムたっぷりのピザが焼き上がりました。そしてその満足いく完成度と味にみんな嬉しそうな様子でした。



みんなおいしそう! 嬉しそう!

9月にはコーヒーゼリーを作りました。実は、玉の井ホームのほぼ全員の仲間はコーヒーが大好きなのです…。そのためか、作る工

程でも、みんないつも以上に積極的に参加しました。メッセーシブシートであるクッキーにチョコシートパンで一枚ずつみんなの名前を書き、誕生者には「おめでとう!」のメッセーシブも添えました。メッセーシブシートをコーヒーゼリーの上にのせて出来上がり。特別感が満載の出来映えとなりました。



味も本格的でした~

普段のコーヒーもあつという間に飲み干してしまうみんなですが、コーヒーゼリーもあつという間に食べてしまいました。どちらの誕生日会でも誕生日を迎えた仲間はもちろん、お祝いする側もみんなが楽しめた会になったのではないのでしょうか。

伊吹山へ行く

北方ホーム・めぐもりホーム

北方ホームとめぐもりホームの仲間が伊吹山方面へお出かけの取り組みを行いました。

最初に向かった先は関ヶ原鍾乳洞。外の暑さと湿度とは対照的な鍾乳洞内の涼しい空気と、ほの暗さに最初はみんな驚き、怖がっていました。慣れようと探検気分まで出口まで頑張っていました。

鍾乳洞を後にし、次はいよいよ伊吹山へ。駐車場に到着し、高山植物や景色を見ながらお弁当を食べた後、山道を途中まで登りました。この日の伊吹山は霧が立ち込めていて残念ながら山頂からの景色を楽しむことは出来ませんでした。が、帰り道では晴れ間がのぞき始め、山々からの普段見る事な



霧の中、山道を歩いたよ

い素晴らしい景色を目にすることが叶い、「きれいな!」と感動している様子でした。そしてそのまま真っ直ぐホームへ帰る・・・前にあそこか所。「胡麻の郷」と「関ヶ原古戦場」にも寄り道しました。



ちょっと怖いかな?

「胡麻の郷」では、胡麻の歴史よりもお土産コーナーの方へ心惹かれていたようでした。また、「関ヶ原古戦場」ではなんと、鎧姿の人がみんなを出迎えてくれました。初めて見た武将にみんなは大興奮。握手してもらったり、写真を撮るに撮ったりと、最初から最後まで充実した一日を過ごすことができました。